

# 時代の潮目を読み取り自ら行動しよう!

# 緑友

## 第3回 常任幹事会報告

全国印刷緑友会 監事 大川哲郎

去る3月15日(土)、平成19年度第3回常任幹事会が横浜にて開催されました。

5月17日といよいよ目前に迫った神奈川総会の議題から9月13日の岐阜大会そして至屋セミナー、平成21年度やまなし総会の進捗状況などが報告されました。またプリントネクストについての議案では若重会長が全国青年印刷人協議会の白田新議長と話し合いを行った内容が報告され、互いに業界を担う団体としてより良い協力関係を構築し、次回開催に向け行動していくことが確認されました。その他「緑友玉手箱」、「フレンズオブグリーン」発行の件、50周年記念誌編纂の件、「フレンズオブグリーン大賞」の件など全11議案について話し合われましたが、中でも特に印象的だったのは神奈川総会上程議案の件でした。多数決をもって審議するのではなく、出席者全員の理解を深めた上で拍手を持って審議可決していくスタイルの緑友会の総会は、常任幹事会において十分な議論がなされていないならば全員の理

解を得られるものではないかもしれません。そのため様々な角度から意見が交わされ、議論を深めていくことの重要性を感じることができました。

会議終了後、崎陽軒本店にて開催された懇親会では、更に緑友の力を感ぜさせられる出来事がありました。東京から利根川先輩、地元横浜からは神奈川県印刷工業組合現理事長でもある川上先輩、そして西岡先輩が出席されましたが、常任幹事の自己紹介が終わるたびに「あの、さんの息子が!」「お父さんにはお世話になったよ」といった言葉が次々と先輩の方々からそれぞれに對しかけられました。それぞれがそれぞれに思いをめぐらせ、緑友の友情を感じ合ったとても良い時間を過ごすことができました。

最後に5月17日(土)、神奈川総会が横浜にて開催されます。開催地グループである神奈川正和会会員一同、皆様のお越しを心からお待ちしております。

## フレンズオブグリーン大賞 応募結果

全国印刷緑友会の皆様のご協力により今年度のフレンズオブグリーン大賞は、下記8グループにエントリー頂きありがとうございました。

- 札幌青年印刷人の会
- 千代田印刷人新世会
- ぎふ印刷翠陽クラブ
- 広島青年印刷研究会
- 仙台刷親会
- 長野青年印刷人緑友会
- 京都青年印刷人月曜会
- 沖縄県印刷若潮会

結果については、神奈川総会懇親会までお待ち下さい。



全国印刷緑友会  
http://www.greenfriend.jp/

### 今後の行事予定

2008年5月17日(土)  
平成20年度 全国印刷緑友会  
第51回神奈川総会

発行: 全国印刷緑友会  
責任者: Y-ING 情報メディア研究会  
井上雅博  
編集人: Y-ING 情報メディア研究会  
齊藤理

FAX不要な方はこちらへご連絡下さい

## 20年度の 総会・大会・セミナー

<b>第51回全国印刷緑友会 神奈川総会</b>	主管 全国印刷緑友会 常任幹事会	運営 神奈川正和会	日時 5月17日(土) 12時30分開始	場所 ヨコハマグランド インターコンチネンタルホテル
<b>第49回全国印刷緑友会 名古屋セミナー</b>	主管 全国印刷緑友会 常任幹事会	運営 名古屋而立会	日時 平成21年 2月開催予定	場所 未定
<b>第50回全国印刷緑友会 岐阜大会</b>	主管 ぎふ印刷翠陽クラブ	運営 岐阜県印刷業協会	日時 9月13日(土) 12時30分開始	場所 岐阜都ホテル

## 第一回全国印刷緑友会 五十周年記念誌 編集委員会が開催

2008年4月4日(金) 13時30分、株式会社 TONEG 3階ミーティングルームにおいて、若重会長、藤田直前会長、作道次期会長候補(司会進行役)井上、(書記)戸根木、そして、TONEGさんから加藤氏、浅野氏の参加を得て、開催されました。

道程 発行以来、10年の詳細をまとめるとともに、五十年という区切りと言ったことでもあり、他団体から見た緑友会や、未来の我々に対する提言などにも、力を注ぐことになりました。

また、2009年5月開催予定の、山梨総会で配布できるように、急ピッチで、進行することが確認された。

今回は、5月16日(金)神奈川総会の前日に、歴代会長などにお集まりいただき、座談会を開催する運びとなりました。

各会にも、活動報告など寄稿をお願いするほか、自由に参加できる提言コーナーなども検討されています。会員の皆様の活発な参加を、お願いいたします。

### リレーエッセイ

## 私と緑友会

全国印刷緑友会 北中国ブロック担当常任 島田 星平 (広島青年印刷研究会)

皆さんこんにちは。中国ブロック担当常任の島田です。私の緑友デビューは平成10年5月の第41回青森総会です。ちょうど10年前です。本当に何も知らされていない状況で連れて行かれ(?)参加グループ紹介で広島の順番のときにやたらと緊張したのを覚えています。

ルームディスカッションは強烈な個性の面々にかこまれ、熱く熱く語り、懇親会開会のアナウンスがうらめしく聞こえたことが思い出されます。その後は二次会も終わり、部屋の力ギを持っていなかったこともあり、エレベータホールで雑談しているとどんどんと人が増え、その場がディスカッション会場になり、地元の話、産物の話、設備の話、後継者の話、果ては節税の話まで、大盛り上がりでした。ソファに座っている人、灰皿を横にしている人、部屋から座布団を持ってきている人。これからの緑友会、印刷業、日本の経済、底なしの話題の中、午前二時頃までワイワイと議論していました。

全国的なネットワークがどれだけ貴重なのか、安い海外旅行より高い旅費を出して集まる意義は、変ろう変ろうと言っているが、変らないといけない部分は、変えてはいけない部分は、そのとき私は24歳。完全に圧倒されていました。自分の生きている時間より長く緑友会に参加している人、自分と同じく緑友デビューの人、10年前のことを鮮明におぼえています。

あまりの衝撃で広島に戻ってから会報に記事を書くのに、文字制限を突破してしまい、レイアウトを大幅変更してもらった記憶もあります。

その後、いろいろなイベントに参加していろいろな話を聞かせてもらって、友人・知人が増えました。目の前に答えがあるわけではありません。話して、聞いて、考えて、翌日にわかるのかも知れませんが、1年後かも、5年後かも、自分より若い人に出会ったり、まるで考え方の違う人に出会ったり、楽しいです。本当に。

もっと参加して、もっと議論して。これが全国にFAX送信されるのかと思うとびびってしまい、ヘンテコな文ですみません。もっともっと研鑽しないと。

## 編集後記

「暫定税率」と言う名の台風が吹き荒れた、4月が終わった。

衆議院議長を本会議場に入れまいと陣取る、暴力団まがいの輩に占拠された国会。これだけの民意の逆風にさらされながらも、一般財源化という当たり前の措置がとれない、利権に固まつた腰抜け親分。

こんなことをやっていると、洞爺湖サミットも、北京オリンピックも終わりに、国際的役割を果たし、国際平和に貢献できるチャンスを取り逃がすことは、ほぼ確実のようだ。

最近の日本人は、何かをしても「慣れ」で済ませようとする傾向が、自ら逆境に立ち向かい、それを克服してきた、明治の先人のような気概は、どこかに忘れてきてしまったようだ。

何とも情けないばかりではあるが、政治のレベルが低さは、国民のレベルの低さだと思ってしまう。他人事のように嘆いてばかりはいられない。今は、まさに歴史の大転換点と、言っても過言ではないと思う。そんな時代に、「政治が悪いから日本は良くならない」とか、「景気が悪いから儲からない」、などと嘆いてみたところで、何も変わるわけではない。頼りにするのは、自ら掴んだ、徳と友だけだ。

今の時代は、所詮、人と同じことをやっているだけ。生きているおぼろげな男、高い志だけを胸に秘め、荒海に乗り出して行く。そんなことが、許される、とつて、も面白い時代に、生きさせて頂く幸運に感謝しつつ、努力努力と言いつつ、日々是好日。

(徹熊)